第40回
富士通行政情報システム研究会
＜ご招待状＞

平成30年11月6日（火）9:30～

ペリエ千葉　7階　ペリエホール

［JR千葉駅東口より徒歩0分］

■テーマ

くるぞ! デジタルガバメント元年

～出遅れないためのAI・RPAの本格活用～

■日時

平成30年11月6日（火）
9時30分～17時10分
（9時00分開場、9時15分から受付開始）

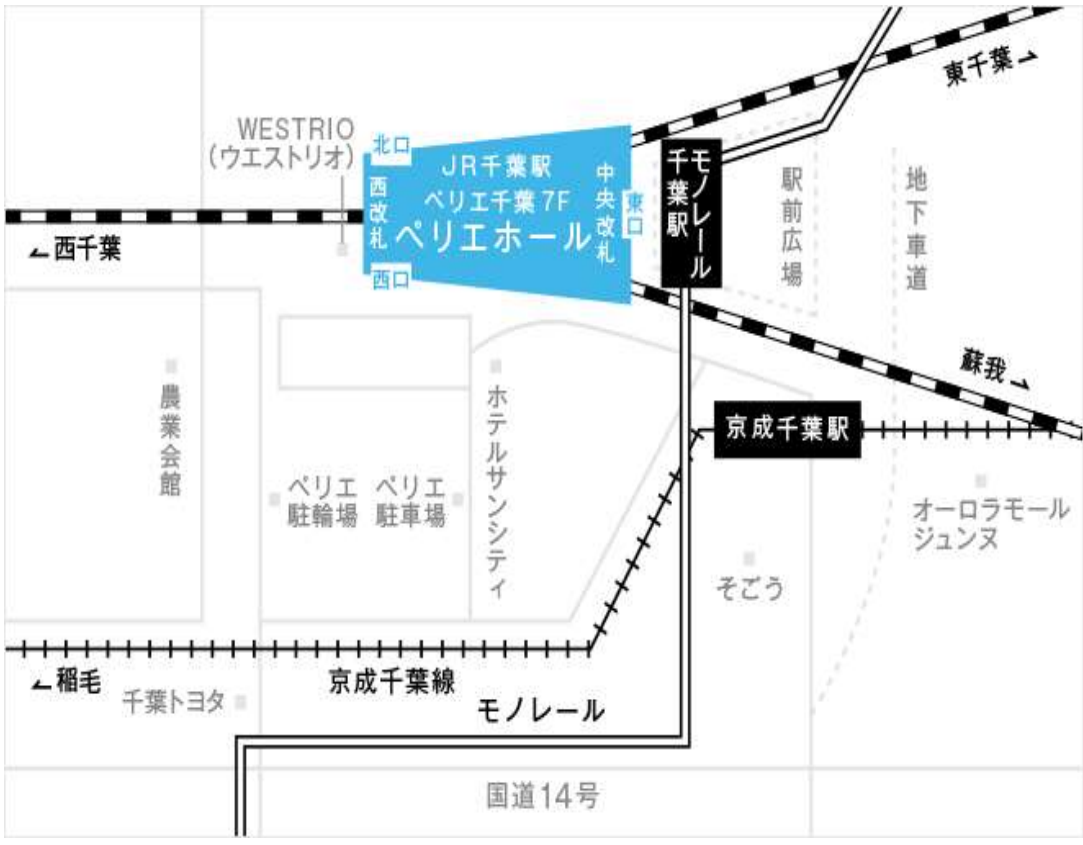
■場所

ペリエ千葉　7F　ペリエホール
〒260-0031　千葉市中央区新千葉1丁目1番1号
TEL：　043 (238) 7026
(富士通行政情報システム研究会事務局)

■交通

ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

[電車]
・JR千葉駅東口から徒歩0分
[車]
京葉道路 「穴川インターチェンジ」から約15分
駐車場131台有（有料）



■申込方法

基調講演・特別講演は、インターネットでの事前申込制となっております。
下記の手順に沿ってお申込みくださるよう、お願いいたします。
インターネットからのお申込みに不都合のある場合は、
担当営業または弊社事務局までご連絡願います。

【お問い合わせ】
富士通株式会社　千葉支社
富士通行政情報システム研究会事務局(担当：板倉、邱(ｷｭｳ))
TEL：043 (238) 7026
E-mail：chiba-gyouseiken@ml.css.fujitsu.com

【アクセス方法１】
富士通のホームページへアクセス　http://jp.fujitsu.com
①ページ右下　お知らせ 「イベント・セミナー」をクリック
②「開催地区で探す」から、「栃木県/茨城県/群馬県/千葉県開催」をクリック
③「第40回富士通行政情報システム研究会」をクリック
【アクセス方法２】
・下記URLより直接アクセス
https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/7334

【出展企業】

株式会社内田洋行
株式会社NTTデータ・エム・シー・エス
株式会社大崎コンピュータエンヂニアリング
シーデーシー情報システム株式会社
ちばぎんコンピューターサービス株式会社
富士電機ITソリューション株式会社
株式会社富士通エフサス
富士通エフ・オー・エム株式会社
富士通株式会社

※自治体様・特別地方公共団体様以外のご来場をお断りする場合がございます。
※セミナー内容は、予告なく変更となる場合がございます。ご了承ください。

ごあいさつ

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、昨今急速に進展しておりますデジタル社会に対応した電子行政を実現するため、政府がデジタル・ガバメントを掲げており、自治体様におかれましてはAI,RPA等を活用し、様々なご検討や取り組みをされていることと存じます。
このトレンドを本年40回目を迎える「行政情報システム研究会」のテーマに据え、国の動向や弊社の先進的な取り組みをご紹介し、パートナー企業も含めた様々な業務に適用可能なAI,RPA関連ソリューションをご案内致します。
情報の収集・情報通信システムのご検討の一助としてご活用いただきたく、ご案内申し上げます。
ご多用とは存じますが、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

敬 具

平成30年10月吉日
富士通株式会社　千葉支社
支社長　大久保　尚

タイムスケジュール

会　場	Room A	Room B	Room C
内　容	講　演		デモ・展示
9:15	午前の部　受付		
9:30～ 10:30	【A-1】特別講演1　9:30～10:30　（60分） 「私は、創造的でありたい」 米国アップル社世界開発者会議に特別招待 された最高齢プログラマー　若宮 正子様		
10:30			
10:45～ 12:15	【A-2】基調講演　10:45～12:15 (90分) 「デジタル時代の自治体における AI・RPA活用の可能性」 一般社団法人行政情報システム研究所 調査普及部長　主席研究員　狩野　英司様		
12:15			
13:00	午後の部　受付		
13:15～ 14:45	【A-3】特別講演2　13:15～14:45（90分） 「世界最先端デジタル国家創造に向けた 富士通の新しい自治体ソリューション」 富士通株式会社　第二行政ソリューション事業本部 本部長 岡田 英人	【B-1】特別講演4　13:30～14:30（60分） 「AIを活用した新しいヘルプデスク」 『スマートコンタクトサービス』 株式会社富士通エフサス	13:15～17:00 デモ・展示
14:55		【B-2】特別講演5　14:55～15:55（60分） 「RPA導入に向けた業務改善のおすすめ」 富士通株式会社	
15:15～ 16:15	【A-4】特別講演3　15:15～16:15（60分） 「アスリート対談」 ～陸上オリンピックメダリストと オリンピック候補選手のよもやま話～ 富士通株式会社　陸上競技部		
16:10～ 17:10		【B-3】特別講演6　16:10～17:10（60分） 「自治体をめぐる近未来への展望」 ～自治体行政の標準化、「圏域」化、 自治体クラウドの動向～ 富士通株式会社	

基調講演/特別講演

【A-1】特別講演1　9:30～10:30（60分）

講演：　私は、創造的でありたい
講師：　若宮 正子様
会場：　Room　A
内容：　60歳でパソコンを手にし、ネット上の老人クラブ「メロウ倶楽部」に入会。その後母の介護中もネットで学びネットを楽しむ。81歳でiPhoneアプリ「hinadan」を公開。米国アップルによる世界開発者会議「WWDC 2017」に特別招待を受ける。ティム・クックCEOから最高齢プログラマーとして紹介され、一躍注目を集める。また、安倍政権の看板政策「人づくり革命」の具体策を検討する「人生100年時代構想会議」の最年長有識者議員にも就任。
デジタルクリエーター、またエクセルアートの創始者として様々な活動をする83歳の若宮正子様が、これまでの経験を踏まえ、高齢者にとってICTリテラシーを持つことが如何に素晴らしいかを伝えます。「創造することこそ、人工知能にはできない最も人間的な活動。だからこそ、私は創造的でありたい」と情熱を込めて語ります。

【A-2】基調講演　10:45～12：15（90分）

講演：　デジタル時代の自治体におけるAI・RPA活用の可能性
講師：　一般社団法人　行政情報システム研究所　調査普及部長 主席研究員　狩野 英司様
会場：　Room　A
内容：　自治体で導入が拡がるAI・RPA。なぜ今、注目されるのか。行政をどう変えようとしているのか。
実際の導入実例を交えながら、分かりやすく解説します。
・AI・RPAの本質と自治体にとっての意義
・どのように導入・活用されているのか
・３つのD（デジタル・データ・デザイン）で考えるAI・RPAの活用
・今後の課題と展望

【A-3】特別講演2　13:15～14:45　（90分）

講演：　世界最先端デジタル国家創造に向けた富士通の新しい自治体ソリューション
講師：　富士通株式会社 第二行政ソリューション事業本部本部長 岡田 英人
会場：　Room　A
内容：　世界最先端デジタル国家創造に向けた官民データ活用推進基本法の施行を受け、自治体でもデータ利活用や働き方改革の取り組みが進んでいます。国の動向や自治体に求められる対応、それに対する富士通の取り組み、また当社がご支援している全国の地域におけるデータ利活用や新技術への取り組み事例などをご紹介します。

【A-4】特別講演3　15:15～16:15（60分）

講演：　アスリート対談～陸上オリンピックメダリストとオリンピック候補選手のよもやま話～
講師：　富士通株式会社陸上競技部　髙平 慎士、髙瀬 慧、髙橋 英輝
会場：　Room　A
内容：　富士通陸上競技部所属、オリンピックメダリストの髙平選手、短距離の髙瀬選手、競歩の髙橋選手の3人で、普段は聞けないオリンピック等のエピソードやアスリートの普段の生活についてお話しします。
また、千葉県内で行われている陸上教室についてもご紹介します。

【B-1】特別講演4　13:30～14:30（60分）

講演：AIを活用した新しいヘルプデスク『スマートコンタクトサービス』
講師：株式会社富士通エフサス
会場：Room　B
内容：スマホやタブレットの普及、テレワークの推進などにより、職員の働き方改革、住民との新たなチャネル（SNSなど）への対応が求められています。本セミナーでは、AIチャットボットを利用したサービスと社内ヘルプデスク業務での活用事例を交えながら、自治体における庁内ヘルプデスク業務や住民の窓口業務での活用方法についてご紹介します。

【B-2】特別講演5　14:55～15:55（60分）

講演：RPA導入に向けた業務改善のおすすめ
講師：富士通株式会社
会場：Room　B
内容：デジタル自治体行政の実現に有効なツールであるRPAの導入に向けては、「全体計画策定」や「机上検証」、さらに並行して業務改善の実施が求められます。富士通は独自手法であるフィールド・イノベーションにて机上検証や業務改善のお手伝いを致します。今回はフィールド・イノベーションの手法について事例を交えて、詳しくご紹介します。

【B-3】特別講演6　16:10～17:10（60分）

講演：自治体をめぐる近未来への展望～自治体行政の標準化、「圏域」化、自治体クラウドの動向～
講師：富士通株式会社
会場：Room　B
内容：約20年後の近未来に向けて、総務省から「自治体戦略2040構想研究会」の報告書が公開され、「現行地方制度に全般的な検討を加えることを目的」に設置される地方制度調査会に諮問され、検討がはじまっています。
この「自治体戦略2040構想」、その背景の「将来人口推計」、関連する「国土のグランドデザイン2050」など、自治体の近未来の展望の概要について、紹介します。
また、「自治体戦略2040構想」に示されている「新たな自治体行政の基本的考え方」のなかの「自治体行政の標準化・共通化」、「圏域マネジメント」については、従来からの「自治体クラウド推進」の動きにもつながっています。
近未来に向けた、自治体をめぐるこれらの動向について、解説します。皆様の近未来への展望が広がりますようご支援させていただきます。

デモ・展示

会場：Room　C

マイナンバーカード対応記帳台

個人番号カードをかざすと、記帳台が情報を読み取り、基本情報が入力された申請書が出力されます。あとはサインをするだけで、申請書作成が完了します。申請書の様式追加、変更も簡単に行えます。
個人番号を活用して、住民の利便性を向上する、住民の"あったらいいな"を形にした、全く新しいコンセプトの記帳台です。

株式会社内田洋行

Autoブラウザ名人（RPAソリューション）

業務自動化15年、650社の実績とノウハウを集結させ、つくりやすさと安定稼働を追求したRPAです。ブラウザ、Windowsアプリ、EXCEL操作など、あらゆるパソコン操作を確実に自動化します。シナリオが作成しやすく、分岐や例外処理なども柔軟に対応できます。独自のスケジュール実行機能やメール通知など、運用管理が充実しています。

株式会社内田洋行

デモ・展示

会場：Room　C

固定資産税 概要調書作成システム/住民税課税状況調べ作成システム

固定資産税「概要調書」作成システム、住民税「課税状況調べ」作成システムは、集計処理から端数処理までをパソコンで行い、総務省から送付された電子調査表へのデータ転送を行う事ができ、毎年の税制改正に適応しています。

株式会社NTTデータ・エム・シー・エス

RPA検討事例のご紹介

・「勤怠管理システム」のデータをRPA（WinActor）が取りまとめ、長時間勤務の実態を本人や管理職へメールによる注意喚起を行い、労働問題発生の抑止に活用する「働き方改革」に向けた検討事例のご紹介。
・業務効率化と職員様の作業時間軽減を図るとともに、転記ミスの防止、属人化の解消を目的とした「資料作成」における検討事例のご紹介。

株式会社NTTデータ・エム・シー・エス

業務効率化支援RPAソリューション「OCEVISTAS」

現在、日本国内においては、急速な少子高齢化に伴う労働生産人口の減少・不足という問題が深刻化しています。そうした時代背景のなか、自治体においても、更なる既存業務の効率化、そして総合戦略に掲げた重点戦略の実現など、よりクリエイティビティな業務への労働力シフトが課題となってきています。
そうした自治体の課題解決を実現するRPAソリューションをご紹介します。

株式会社大崎コンピュータエンヂニアリング

Webの脅威を完全分離「セキュアブラウジングサービス」

年金機構の個人情報流出事件に端を発した「インターネット分離」の要求実現のため、多種多様なソリューションが多くの自治体に導入されています。中でもブラウザを利用したソリューションは、低コストでインターネット分離を実現するソリューションに分類されますが、様々な課題も抱えていました。
弊社では、課題を克服したWeb分離ソリューション「セキュアブラウジングサービス」を提供しています。

株式会社大崎コンピュータエンヂニアリング

RPAを取り入れた、自治体様の働き方改革

働き方改革を進める自治体様において、RPAが注目されています。定例的で繰り返し行う作業をRPAで自動化することにより、労働時間の短縮やミスをなくすことができ、職員様は付加価値の高い創造的な仕事にシフトすることにより生産性を向上することができます。RPA導入と業務支援サービスについてご紹介します。2システム間のデータ連携処理、EXCELからのデータ連携処理についてデモいたします。

シーデーシー情報システム株式会社

公金収納ASPサービスと地方税共通納税システムとの連携について

新たな収納方法（コンビニ、ペイジークレジット）の導入をご検討されている、また公金収納のアウトソーシングをご検討されている自治体様にとって参考となる情報のご提供をさせて頂きます。
あわせて、平成31年10月から開始される地方税共通納税システムと公金収納ASPサービスとの連携についてご紹介します。

ちばぎんコンピューターサービス株式会社

AIを用いた画像解析とネットワーク分離システムのご紹介

ディープラーニングを用いた映像認識システムAI-EYEを動画にてご紹介いたします。従来の映像認識システムに比べ、認識率が高く、背景が複雑な場所でも人物や車両を認識します。

1台のPCで2つのネットワークを行き来できるネットワーク分離システム「Snet Secure」も合わせ展示いたします。

富士電機ITソリューション株式会社

時間意識の向上・働き方の可視化で生産性の高い働き方へ

社員の定時退社を促し、残業時の業務の見える化で不要な残業を抑止。時間意識の向上で理想のワーク・ライフ・バランスの実現を支援する「TIME CREATOR（旧名称：IDリンク・マネージャー）」をご紹介。展示では、基本機能の残業抑止機能に加え、業務中のPC操作ログを取得し、働き方を分析する新機能「働き方可視化オプション」をご覧いただけます。

株式会社富士通エフサス

デモ・展示

会場：Room　C

～AIを活用した多言語コミュニケーションツール-LiveTalk～

「LiveTalk」は、音声認識とリアルタイム転送技術によって発話内容を共有するコミュニケーションツールです。
19ヶ国語の音声認識と、AI搭載の翻訳エンジンに対応し、独自技術により翻訳内容をリアルタイム表示します。聴覚障がい者や多国籍の方とのコミュニケーション、働き方改革等に活用できます。

富士通エフ・オー・エム株式会社

～「働き方改革」に貢献するRPAツール-Interdevelop Axelute～

日々の業務には画面からのデータ入力や取得など、繰り返し行う単純な定型業務が多くみられます。このような定型業務をロボットに代行させませんか？
Interdevelop Axeluteは、Windows上の操作を記録・自動化することで、定型業務を効率化し、働き方改革に貢献します。

富士通エフ・オー・エム株式会社

～認知症アプリ～

地域における高齢者の孤立化や共働き世代の増加、地域の連帯意識の希薄化が進む中、行政による認知症に関する情報提供の重要性が年々高まっています。
認知症の方とご家族を支える自治体オリジナルの支援情報アプリをご紹介します。

富士通エフ・オー・エム株式会社

自治体様の「働き方改革」「強靭化対応」を実現する富士通のPC・タブレット

自治体様の業務改善・課題解決をサポートする最新の富士通PC・タブレットを展示します。
・働き方改革を実現するモバイル端末
・強固なセキュリティを実現する行政セキュリティPC
・その他最新モデルPC・タブレット

富士通株式会社

オンデマンド交通サービスによる地域活性化 -SPATIOWL(スペシオール)オンデマンド交通サービス-

少子高齢化・過疎化が進む自治体や公共交通手段の確保が難しい地域に乗合サービスを導入することで、遊休資産（営業車、公用車、自家用車など）を活用した効率的で利便性の高い交通手段の創出・地域の活性化を実現。
利用者は本サービスを使い、オンデマンドで自身の移動に最適な車両を手配できます。システム上で車両の運行状況を常時管理しているため、希望の場所から他の利用者と乗り合いながら移動することができます。

富士通株式会社

ロボットAIプラットフォーム(unibo)

新しいコミュニケーション価値を提供するロボットAIプラットフォームと、 ロボットデバイス『unibo』をご紹介します。
AI技術を活用し、話者の性別・年齢や感情に応じて会話を変えることが可能です。様々なシーンで人に優しいコミュニケーションを提供します。

富士通株式会社